

事業番号	07 05 07	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	工科短期大学校運営事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	人材育成課	
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 4 人材の育成・確保 1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進			E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針				実施期間	H7 ~	
	施策展開	3 (2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保 イ 県内産業が必要とする人材の確保・育成					

1 事業の概要

目指す姿	・主に新規学卒者を対象に、就業に必要な高度な技術・知識習得のための職業訓練を実施することにより、技術革新に対応できる高度な実践的技術者を育成する。					
現状(予算編成時)	・若年労働力人口の減少、高学歴化、若者のものづくり離れ等により、本県経済を支える製造業等において若年技術者が不足している。 ・主に新規学卒者を対象に、就業に必要な高度な技能・技術を習得するための職業訓練を4学科(2年制の専門課程)で実施。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 産業界を担う実践技術者の育成と就業の促進のため、県が主体的に取り組む必要がある。 職業能力開発促進法、第9次長野県職業能力開発計画等。				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) (単位:千円) (%)					
	・定員充足率100%を目標とする。 ・修了生の就職率100%を目標とする。			定員充足率	就職率	
				H24	107.5	100.0
				H25	92.5	98.2
				H26	96.3	100.0
			3年平均	98.8	99.4	
② 事業内容 (単位:千円)						
項目	実施方法	H28事業実績		H28	H29	
		(当初)	(決算)	(当初)		
工科短期大学校の管理・運営	直接	光熱水費、郵便費等	37,611	35,513	37,051	
施設内訓練の実施	直接	外部講師の配置、教材の購入等	29,733	22,692	29,728	
施設・設備の整備	直接	既存施設・機器の維持管理、新規機器の導入	71,615	69,886	62,777	
			合計	138,959	128,091	129,556

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越			項目	H26末	H27末	H28			H29目標	
		当初予算	137,699	138,959				129,556	目標	成果		達成状況
		補正予算										
		合計(A)	137,699	138,959				129,556				
	Aの財源	一般財源	48,405	48,995	45,561	定員充足率	H27. 4 96. 3%	H28. 4 100%	H29. 4 100%	H29. 4 96. 3%	未達成	-
		県債				修了生の就職率	H27. 3 100%	H28. 3 100%	H29. 3 100%	H29. 3 100%	達成	H30. 3 100%
		国庫支出金	57,337	58,374	52,524							
		その他	31,957	31,590	31,471							
	決算額(B)	122,935	128,091									
概算人件費	職員数(人)	29.00	29.00	29.00								
	概算人件費(C)	240,004	229,506	229,506								
	概算事業費(B(A)+C)	362,939	357,597	359,062								

目標に対する成果の状況	・大学との併願により若干名の辞退者が入学直前に出たため、定員充足率の目標は達成しなかった。 ・きめ細やかな就職指導・求人開拓活動に加え、景気の回復基調により求人も増えており目標の就職率を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・今後も地域との連携強化を進め、カリキュラムの見直し、施設や設備の整備を通じて、地域ニーズに応えた魅力的な校づくりを進めていく。 ・修了生の就職率については、引き続き就職指導等の支援体制を維持し、きめ細かくサポートしていく。
--------------------	--